

安全データシート
エチレンジアミン四酢酸 四ナトリウム塩 水和物

作成日 2024 年 4 月 23 日

1. 化学品及び会社情報

製品名	Lenti-X Transduction Sponge
コンポーネント名	Release Buffer
会社名	タカラバイオ株式会社
住所	〒525-0058 滋賀県草津市野路東七丁目 4 番 38 号
担当部署	タカラバイオテクニカルサポートライン
電話番号	077-565-6999
FAX 番号	077-565-6995
製品コード (容量)	631478
TaKaRa Code	Z1478N
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	研究用途に限る。診断には使用しないこと。
使用上の制限	情報なし

2. 危険有害性の要約 (以下、濃度を記す項目以外は単一物質について示す)

物理化学的危険性	危険・有害性項目	GHS 分類結果
	-----	-----
健康に対する有害性	危険・有害性項目	GHS 分類結果
	急性毒性 (経口)	区分 4
	急性毒性 (経皮)	区分 4
	急性毒性 (吸入: 粉塵、ミスト)	区分 4
	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3
環境に対する有害性	危険・有害性項目	GHS 分類結果
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 3

注) 上記の GHS 分類で区分の記載がない危険有害性項目については、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。なお、健康に対する有害性及び環境に対する有害性については、それぞれ後述の 1 1 項に 1 2 項に、「区分に該当しない」又は「分類できない」の記述がある。

GHS ラベル要素

絵表示:



注意喚起語: 警告

危険有害性情報: 飲み込むと有害
皮膚に接触すると有害
吸入すると有害 (粉じん及びミスト)
皮膚刺激
強い眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き:

【安全対策】

取扱い後は手などをよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
口をすすぐこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合: 気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物
化学名又は一般名：エチレンジアミン四酢酸 四ナトリウム塩 水和物
別名：Ethylenediaminetetraacetic acid tetrasodium salt Hydrate、四ナトリウム＝エチレンジアミンテトラアセテート、水和物（1：？）、Tetrasodium ethylenediaminetetraacetate, hydrate (1:?)
CAS No.：194491-31-1
濃度又は含有率：4.8%
分子式： $C_{10}H_{12}N_2Na_4O_8 \cdot xH_2O$
分類に寄与する不純物及び安定化添加物：データなし

4. 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状：
吸入：咳 経口摂取：腹痛、下痢
眼：発赤、痛み

5. 火災時の措置

消火剤：水噴霧、二酸化炭素
使ってはならない消火剤：情報なし
火災時の特有の危険有害性：火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム（またはガス）を放出するおそれがある。燃焼ガスには、一酸化炭素などの他、窒素酸化物系のガスなどの有毒ガスが含まれるおそれがあり、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。
特有の消火方法：消火作業は、風上から行う。周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置：消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡・マスク、個人用保護具：空气中濃度に応じた粒子用フィルター付マスクなど）を着用する。
環境に対する注意事項：環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：漏出したものをすくいとり、または掃き集めて非金属容器内などに回収する。残留分を注意深く集め、安全な場所に移す。火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策：取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
安全取扱注意事項：粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
接触回避：情報なし
衛生対策：取扱い後は手などをよく洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
保管
安全な保管条件：換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。
容器包装材料：情報なし

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：情報なし
許容濃度：情報なし
保護具
呼吸用保護具：適切な呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具：適切な手の保護具を着用すること。
眼、顔面の保護具：適切な眼、顔面の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具：適切な皮膚及び身体の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状：固体

色：情報なし

臭い：情報なし

融点／凝固点：情報なし

沸点又は初留点及び沸騰範囲：情報なし

可燃性：情報なし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：情報なし

引火点：情報なし

自然発火点：情報なし

分解温度：情報なし

pH：情報なし

動粘性率：情報なし

溶解度：情報なし

密度及び／又は相対密度：情報なし

n-オクタノール／水分分配係数：情報なし

蒸気圧：情報なし

相対ガス密度：情報なし

粒子特性：情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性：情報なし

化学的安定性：情報なし

危険有害反応可能性：情報なし

避けるべき条件：情報なし

混触危険物質：情報なし

危険有害な分解生成物：情報なし

11. 有害性情報

急性毒性：経口：EUROPIAN CHEMICALS AGENCY (ECHA)により公開されている Summary of Classification and Labelling による。

経皮：ECHAにより公開されている Summary of Classification and Labelling による。

吸入（ガス）：区分に該当しない

吸入（蒸気）：区分に該当しない

吸入（粉じん及びミスト）：ECHAにより公開されている Summary of Classification and Labelling による。

皮膚腐食性／刺激性：ECHAにより公開されている Summary of Classification and Labelling による。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：ECHAにより公開されている Summary of Classification and Labelling による。

呼吸器感受性：データ不足のため分類できない

皮膚感受性：データ不足のため分類できない

生殖細胞変異原性：データ不足のため分類できない

発がん性：データ不足のため分類できない

生殖毒性：データ不足のため分類できない

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：ECHAにより公開されている Summary of Classification and Labelling による。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：データ不足のため分類できない

誤えん有害性：データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）：データ不足のため分類できない

水生環境有害性 長期（慢性）：ECHAにより公開されている Summary of Classification and Labelling による。

残留性・分解性：情報なし

生体蓄積性：情報なし

土壌中の移動性：情報なし

オゾン層への有害性：情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

汚染容器及び包装：容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制 海上輸送は IMO の規則に、航空輸送は ICAO/IATA の規則に従う。

海上規制情報 該当しない

航空規制情報 該当しない

国内規制

陸上規制情報 該当しない

海上規制情報 該当しない

航空規制情報 該当しない

特別安全対策

移送時にイエローカードの保持が必要。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：該当しない

労働安全衛生法：	該当しない
化管法（PRTR法）：	第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） ※令和5年4月1日施行
消防法：	該当しない
麻薬及び向精神薬取締法：	該当しない
航空法：	該当しない
船舶安全法：	該当しない

16. その他 引用文献等
各データ毎に記載した。

- * 当社の販売する試薬は試験研究用途に限定して販売しております。
 - * 製品を取扱う前に取扱説明書をよく読んで、専門知識のある技術者、研究者がお取り扱い下さい。
 - * 危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願いします。
 - * 記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の値は保証値ではありません。
 - * 注意事項等については通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いについては、この点のご配慮をお願いします。
-